

かいっぱい がんばる子

令和5年3月15日

園長 木野園枝
菊川中央こども園〈3月末号〉



チューリップも芽を出し、日差しもあたたかくなり、春がやってきました。
みなさん、卒園、進級、おめでとうございます。
コロナ禍になって3年が経ちましたが、今年も園生活を工夫しながらの1年でした。
そんな中でも、子どもたちは
友だちと思いが通じず、泣いたり、怒ったり、
友だちが困っている時に、優しく声をかけてくれたり、
頑張っている姿をみんなで応援したり、
諦めないで頑張る姿を、私は観てきました。
先日の、お別れ遠足の時のことですが、公園で年少児が、なかなか登れない斜面を登ろうと頑張っていると、
年長児の女の子が「ここにつかまって」と、上から手を差し伸べてくれました。
するとその子も、その手につかまり、頑張って登りました。
とっても満足そうな顔でした。
年長児の子は、本当に自然と手と言葉がでて、
とっても優しくかったです。
その場において、そんな光景を見ることができ、なんだか心がほっこりしました。
どの子も、この一年で心も、体も大きく成長しました。
もちろん、年齢によって違いますが
集団の中でなければ育たない育ちが育っていることを嬉しく思います。
これからも、いろいろなことを経験し、どんどん大きくなってほしいと思います。
たんぼぼ組は藤組、藤組は赤組、赤組は桃組、桃組は青組に進級します。
そして青組は、いよいよ小学生。
どの子も、一つ大きくなって新しい環境になります。
希望でいっぱいですが、不安もあります。
お家に帰ったら、そんな子どもたちを膝に入れたり、抱っこしたり、
保護者のあたたかさで包んであげてください。
保護者の方が、「いつも一緒だよ」「大丈夫だよ」の安心パワーを伝えてあげてください。
それだけで、子どもたちには力になります。「自分大好き」「自分てすごいんだ」と思えることが大事です。
まだまだ、小さな子どもたちです。みんなの愛情をいっぱいかけて育てていきたいですね。



リズムうんどう

子どもたちの大好きな、リズム運動。
久しぶりに、みんなで一緒にやったので、
時間は少し長くなりましたが、よく集中していました。
うさぎ、かめ、あひる、とけい、いとぐるまをやりました。
さすが年長児。
かめは、ブリッジがほとんどの子ができていました。
みんな、素敵な笑顔でした。



最後にひとこと

保護者の皆様には、いつもご協力、ご支援をいただき、大変ありがたく思っております。
今年はコロナ禍になり3年、また全国的なこども園に関する事件がありましたが、
いつも温かなお言葉をいただき、私たちも嬉しかったです。
先生たちも、いつも子ども一人ひとりをよく観て、支えてくれました。
来年度も、子どもたち一人ひとりに目をむけ、
明るい楽しい声がいっぱいの園になるよう、頑張っていきたいと思います。
来年度も、今年度同様、よろしくご協力をお願いします。

